

広島県中小企業団体中央会 2022年3月分情報連絡員一覧票

(食料品)

●食料品

中国醤油醸造協同組合

3月の出荷量は前月比65.5%増加、前年同月比25.9%増加となり、売上高は前月比58.0%増加、前年同月比26.2%増加となった。

広島県東部菓子商工業協同組合

原材料をはじめ諸経費が値上がりして収益を圧迫している。また、人材不足感がますます高まっており、従業員の採用が難しく、良い人材を確保しにくい。

(木材・木製品)

●木材・木製品

広島県木材協同組合連合会

<全国>

・令和4年2月の全国新設住宅着工戸数は64,614戸で前年同月比6.3%増加

住宅着工動向は全体では前年同月比12カ月連続の増加となったが、3カ月連続の7万戸割れで、持家は2カ月連続で2万戸割れの低水準が継続しており、リーマンショック後並みの低水準となった。ウッドショックの収束は

不透明で、木材価格は依然として高値水準にあり、今後の動向を注視していく必要がある。

<県内>

・令和4年2月の着工戸数は1,242戸で、対前年同比7.3%増加、うち持家は377戸で15.3%減少、貸家は491戸で19.5%増加。分譲は374戸で31.7%増加と、県全体の住宅着工動向前年同月比も11カ月連続で増加した。

・昨年9月末締切の住宅ローン控除の駆け込み注文の反動が業界内では懸念されており、プレカット工場は新規が減少する一方で、年度末引渡し集中による人材不足から受注済み物件に加工遅れが出ており計画先送りで当面の稼働が出来ている状態。ロシアへの経済制裁の影響等もあり、引き続き今後の需給動向を注視していく必要がある。

福山木材協同組合

仕事の量は減っているが、昨年より材料費が上がっているため、売上は増加している。

(印刷)

●出版・印刷・同関連

広島県印刷工業組合

日本全体で蔓延防止がやっと解除されたが、引き続き時代の激変にいかに対応していくかを模索している。

(化学・ゴム)

●工業用ゴム製品

中国ゴム工業協同組合

先月から大きな変化はなし。原材料価格転嫁など大変なプレッシャーの中で、小さなことから徐々に改善していく必要がある。

●プラスチック製品製造業

広島県プラスチック工業会

自動車関連 種々の要因で3月・4月は減産傾向にある。また、ウクライナ情勢で、原油高騰により樹脂原材料等資材の価格が高騰している

(窯業・土石製品)

●窯業・土石製品

広島地区生コンクリート協同組合

3月の出荷状況は対前年比94.12%、令和3年度の総出荷量対前年比は87.35%。令和4年4月1日から実施される生コンクリートの価格改定による影響を注視していく必要がある。

(鉄鋼・金属製品)

●鉄鋼業

鞆鉄鋼協同組合連合会

材料費を始めあらゆる購入品の値上げ要請を受け、当面どの程度の期間で、売価に転嫁していくかが、最も難しい点である。必ず一定の期間は我々が受け止めることになるため、非常に大きな問題と捉えている。

(一般機器)

●一般機械器具

広島県東部機械金属工業協同組合

3月の大幅な受注増があり、前月比70%増加、前年同月比10%増加となった。特に、工作機械の受注は好調が続いている。

●電気機械器具

広島県東部機械金属工業協同組合（電気機械器具）

売上推移が前月比5%増加、前年同月比15%増加となっており、年間を通じて増加傾向にある。部材調達の困難と価格上昇を要因とする売上の値上げ交渉が必要だが現状の動きは鈍い。また、物流費の高騰が収益の圧迫要因となっているのも業界の懸念事項と言える。

（輸送用機器）

●輸送用機械器具（自動車）

東友会協同組合

組合員の業況は、ビジネス依存度が高い主要顧客（マツダ）の業況（生産台数）に比例している。また半導体影響が解消されていないことで、部品供給が不安定であり、減産が続く。

・3月の国内自動車販売台数は、全需が512千台、前年同月比16.3%減少と9ヶ月連続での前年割れ。マツダ車においても同22.8%減少となった。

・マツダの2月の海外販売は、北米以外は減少。全体で77.8千台、前年同月比4.8%減少。7ヶ月連続で前年比減となった。

・マツダの2月の輸出台数は、前年比6.9%減少と2ヶ月連続で減少となった。

・マツダの2月の国内生産台数は、前年同月比15.1%減少とコロナの影響での部品の供給不安が続き、前年比で減少となった。

八本松工業団地協同組合

自動車業界を中心に計画通り生産が進んでおらず、生産計画が不安定である。

●輸送用機械器具（造船）

中国地区造船協議会

県内、2500総トン以上の令和4年2月の船舶建造許可実績は1隻、9,990総トンであった。（前月4隻176,550総トン。前年同月2隻、56,400総トン。）

（卸売業）

●卸売業（総合）

協同組合広島総合卸センター

為替円安による収支圧迫が足許で顕著。仕入コスト上昇の販売価格転嫁はこれから、為替変動対策は自助努力を余儀なくされる企業が多い。また、物流拠点の整理統合等の「合理化」を検討する企業が散見され始めている。

●卸売業（食料）

広島県東部食糧協同組合

取扱商品のうち米穀を除きほぼ全商品が昨年末大幅な値上げとなっている。得意先は大半が食品製造業でコストアップ分を価格に転嫁できず苦慮されている状況。

●卸売業（電設資材）

広島県電設資材卸業協同組合

2021年度の下記物件見積状況は、マンション物件及び非住宅部門ともに堅調な推移。また、官公庁物件は前年割れと今後も厳しい状況である。

●卸売業（家具）

リビンズ株式会社

春需で一部商品は売れたが、メーカーから値上げ要請あり。

●卸売業（量・敷物）

広島県藁製品商業協同組合

全体では、118千枚の扱いで、前年対比で10.3%増加と若干の増加となった。

（小売業）

●各種商品小売業

広島生鮮三品連絡協議会

令和4年3月の取扱高は、まん延防止等重点措置が解除されたことや一部生鮮品の品薄から相場高で推移し、水産部、青果部とも前年を上回った。また、原材料高を受け、食品値上げが一段と広がっている。相次ぐ値上げで節約志向が強まり消費が伸び悩む懸念がある。ますます経営環境は厳しさが増すばかりである。

協同組合三次ショッピングセンター

地方人口の減少が長期的な課題となっている。

●家庭用電気機械器具小売

広島県電器商業組合

今月の販売実績としては、前年同月比で7%減少。AV商品は同10%減少、白物商品は同5%減少、薄型テレビは同13%減少、DVDは同32%減少、洗濯機は同1%減少、エアコンは同6%減少、空気清浄機は同38%減少、一方で冷蔵庫は同10%増加、IHクッキングヒーターは同5%増加、エコキュートは同15%増加、炊飯器は同3%増加となった。

「まん延防止特別措置」が3月6日に解除したが、依然として一部商品で商品供給面は改善されず目処たたない中、以前発注済商品が少しずつ入荷し始めるが、解消できるかは不明。家電メーカーによる取扱商品の縮小再編の動き

が現実化している。

●その他の小売業（燃料）

広島県石油商業組合

燃料油価格激変緩和対策事業の延長が決定したが、原油価格は、1週間の間に大きく変動する。また、補助額の決定において小売価格の調査結果を参考にしているため、乱高下に拍車がかかっているようにも見える。

（商店街）

●商店街（各種商品小売業）

呉本通商店街振興組合

まん延防止等重点措置が解除されたものの、呉市の感染者数の減少幅は小さく、景況の回復の見通しは未だ不透明という状況である。そうした中で、中央地区商店街の活性化策の一つとして、海上自衛隊向け優待サービスを行っている「くれフレンドシップパートナーズ」参加店が中心となり、3月27日（日）に呉中通（れんがどおり）アーケード内で各種発表展示、物産展・屋台出店などのイベントが開催された（呉飲食組合が主催）。今後も各種イベントが企画されているが、コロナウィルスの感染状況次第という状況である。

（サービス業）

●自動車整備業

広島市自動車整備団地協同組合

車検台数は、年間0.7%増加。車検場収入は、年間比1.5%増加。重量税・登録印紙売上は、年間比9.4%増加令和3年度全体としては、前年比微増であった。

●広告業

広島県広告美術協同組合連合会

3月は稼働が少なく、4月中は多少稼働すると思われるが、例年閑散期である5月の見通しは下降すると思われる。

（建設業）

●工事業

広島県室内装飾事業協同組合

物件が少なく、新年度も暫く低調で推移する見込み。

福山地区電気工事業協同組合

3月分の受付件数は、「371」件と前年度・前月と比較して増加となり、2021年度累計では前年度と比較して多少増加となった。

（運輸業）

●道路貨物運送業

広島東部トラック運送事業協同組合

3月の荷動きは前年を上回る。ドライバーが確保しきれず輸送能力に不足感が出る中、ウクライナ情勢により軽油価格が急騰しているため、燃料費の上乗せを求める運送会社が増えた。

3月の売上高は蔓延防止が解除されたため、前月比、前年同月比と比較して増加した。

政府は3月までの緩和措置で補助金支給の増額に応じたため軽油価格が下降した。

中国カーゴ軽自動車運送協同組合

新型コロナウイルスの影響から得意先も徐々に回復してきているため、営業活動を積極的に拡大している

松永地区トラック事業協同組合

3月は貨物も人の動きもあるのではと期待したが、対前月、対前年同月で大きな変化はなかった。新型コロナウイルスが流行してから人事異動に伴う引っ越しでは、件数や規模も以前と比べると変わりつつある。また、ガソリンなどの燃料価格の高騰対策である「ガソリン補助金」には、目に見える効果はなく、3月時点では値上げ又は高止まりしている。4月からは首都高速や阪神高速道路の通行料が距離制に変更になることにより、一部の車種では値上がりとなり、今後も運送事業者は厳しさを増すと予想される。

●水運業

全国内航タンカー海運組合中国支部

船員の高年齢化が進み、船員不足であり、若年船員が育たない状況が続く。しかし、運賃、用船料の改善も見られず、業界全体として厳しい状況が続く。

(その他)

●不動産業

広島県不動産評価システム協同組合

令和4年度は、令和6基準年度固定資産税評価替えに向けての標準宅地評価作業が始まるため、年末からは多忙になる。

流川・薬研堀歓楽街の飲食店業界は、蔓延防止期間中は休業補助金で一息ついたが、解除後の客足はいま一つで依然厳しい業況が続いている。

不動産市場については、コロナ禍及びウクライナ情勢の影響による先行き不透明感はあるものの、低金利政策等により戸建て需要は堅調に推移しているが、建築素地不足による業者の土地仕入価格の上昇が続いている。又、建設業者、建売業者、リフォーム業者等は依然として建築資材の納品遅延により、完成工事の遅れが出ている。